

2007年度の中間連結決算、営業利益が3.7倍に 増益を受け、中間配当1円増配へ

横浜ゴム(株)(社長:南雲忠信)の2007年度中間期(2007年4月1日から2007年9月30日)の連結決算は、売上高が前年同期比13.9%増の2,533億円、営業利益が同3.7倍の121億円、経常利益が同3.5倍の108億円となり大幅な増益となった。海外でのタイヤ販売が大幅に伸び、原材料価格の高騰や流通コストを中心とする販管費の増加を吸収した。また値上げの浸透が進んだことや、為替レートが想定より円安に推移したことも増益に寄与した。中間純利益は同3.9倍の130億円。経常利益の増加に加え、北米子会社の収益改善などに伴う税効果の認識により法人税が減少し、収益を押し上げた。

大幅な増益を牽引したのはタイヤ事業で、売上高が同16.2%増の1,887億円、営業利益は同8.0倍の90億円となった。国内の市販用が微減となったものの、海外販売が大幅に伸長。米国やアジアの子会社の収益改善も進み利益を押し上げた。MB事業は売上高が同7.7%増の646億円、営業利益が同19.3%増の30億円。コンベヤベルト、防舷材などの資源開発関連商品を中心に売り上げを伸ばした。

2007年度通期の連結決算は2007年8月9日に公表した業績予想を据え置く。売上高は前期比8.6%増の5,400億円、営業利益は同51.9%増の320億円、経常利益は同34.4%増の270億円、当期純利益は同39.3%増の228億円となる見通し。

また好調な業績を受け、中間配当を当初予定の一株当たり5円から6円に増配する。期末配当は一株当たり7円を予定しており、年間では前年度に比べ一株当たり1円増配の13円とする予定。

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム(株) 広報部 担当: 木下 石塚
TEL: 03-5400-4531 FAX: 03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部広報・IRグループ
〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570

決算ハイライト

(百万円)

	2007 年度中間期	2006 年度中間期	2006 年度
売上高	253,327	222,440	497,396
営業利益	12,117	3,304	21,069
経常利益	10,788	3,072	20,084
税金等調整前中間(当期)純利益	10,648	6,949	26,038
中間(当期)純利益	13,026	3,361	16,363
純資産	196,302	170,476	186,528
総資産	545,251	505,691	536,322
有利子負債	176,224	168,467	167,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,894	8,507	36,738
投資活動によるキャッシュ・フロー	(15,956)	(14,109)	(35,122)
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,738	3,706	(1,007)
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	16,300	11,961	14,812
一株当たり(円):			
中間(当期)純利益	38.85	10.02	48.79

セグメント別

(百万円)

	2007 年度中間期	2006 年度中間期	2006 年度
事業別:			
売上高			
タイヤ	188,747	162,458	372,708
MB	64,579	59,981	124,687
営業利益			
タイヤ	9,044	1,126	14,670
MB	2,989	2,505	6,797
消去	83	(327)	(397)
所在地別:			
売上高			
日本	176,167	163,721	369,740
北米	53,689	46,138	98,136
アジア	10,743	-	13,897
その他	12,726	12,580	15,621
営業利益			
日本	7,911	1,489	17,469
北米	3,672	1,836	3,804
アジア	1,096	-	122
その他	432	59	393
消去	(995)	(81)	(721)

(注)所在地別の北米は米国及びカナダ。アジアはフィリピン、タイ、中国、台湾。その他は欧州、大洋州。
2006年度中間期については、アジアはその他に含む。